



「♪あかりをつけましょぼんぼりに」。今年もひな人形を飾る季節となりました。

寒い日もありますが、陽ざしや吹く風に春を感じるこのごろです。

季節の変わり目、子どもも大人もしっかりと体調管理をしていきましょう。

子どもの話を聞きましょう

子どもとの会話は親なら誰もが楽しく思うものです。しかし、日々の忙しさにかまけて、つい、聞くことを後回しにしてしまい、後で反省することの繰り返しです。

※ 子どもは聞いてくれない相手には話さない

子どもにとって話を聞いてもらえることはとても大切です。子どもは「聞いてくれる」と思っていれば話すし、「聞いてくれない」と思っていると話しません。

『4・5歳児』になると何に対しても「どうして？」と訊くようになります。それは「わかりたい」という気持ちの表現なので、何らかの答えをちょっと与えれば納得します。

小学校高学年ぐらいになってくると、親が初めから問題解決的に話を聞いてしまいがちですが、子どもは、自分の気持ちをわかってもらえた後でなら、親の意見も聞けますが、気持ちがわかってもらえていない時には、なかなか聞けないものです。子どもの気持ちに寄り添って、内容でなく気持ちを聞くこと、気持ちに共感してからアドバイスすることが大切です。親の気持ちを優先しないで黙って寄り添うだけで、心が通じ合うという場面もたくさんでてくるでしょう。

「相手の気持ちをきちんと<聞く>技術」(平木典子 PHP)より

およそ3年間にわたり「きっずぼけっとミニ通信」を担当しましたが、今回で卒業します。自分の子育てを振り返りながらの有意義なひとときでした。ありがとうございました。(ワーカー T)